愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校　地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

さきばるだより

創立１１６年　奄美市立崎原小中学校　学校だより　令和６年12月号

令和6年12月30日発行

令和6年度児童生徒会スローガン

切磋琢磨

―ひとりじゃない。
みんな誰かの応援団！―

奇蹟と軌跡

崎原小中学校　校長　鑓　謙治

いろんな持論がそれぞれにあると思いますが、少しお付き合いください。

奇蹟：人間の力や自然法則を超え、神など超自然のものとされるできごと。

軌跡：①車輪の通ったあと。②先人の言動のあと。また、その人や物事のたどってきたあと。③数点が一定の条件に従って動くときに描く図形。

同音異義語ですが、なんとなく意味も似ているように考えている人もいるかもしれません。しかし、奇蹟はどこか神頼みで、軌跡は人の力で勝ち取ってきたもののような気がします。

1953年（昭和28年）12月25日、奄美は日本に復帰しました。それは決して奇蹟ではなく、当時の奄美の人々の力だったのではないでしょうか。断食運動、署名運動、日本復帰に向けて島民のほとんどが尽力された。そのおかげで今の奄美はあるのです。

しかし、奄美の日本復帰から71年が経ちますが、当時のことを話せる方々は少なくなってきています。今後、もっと少なくなっていくわけですが、この日本復帰までの軌跡は、いつまでも語り継いでいく必要があります。なぜなら、奄美の日本復帰は、奄美の方々が勝ち取ったものだからです。決してアメリカのおかげではなく、日本政府の力も多少はあったかもしれませんが、奄美の民衆の力です。

「朝はあけたり」の歌にもあるように、奄美が1つになって、自分たちのアイデンティティーを取り戻したことは、奇蹟ではなく軌跡（先人の言動）なのです。ぜひ、クリスマスを祝うだけでなく、日本復帰を、奄美の団結力を、先人の行動を祝う日にしたいものです。

まもなく、令和6年が終わります。今年は能登半島の地震から始まり、政治の裏金問題、新紙幣発行、パリオリンピック、豪雨災害、日本被団協のノーベル平和賞受賞、大谷翔平選手の54本塁打、59盗塁など、ふり返れば災害や暗い話題の中で、いくつかの光明が差した1年だったような気がします。

崎原小中学校はどうでしょうか。今年は、作文で多くの賞をいただきました。また、児童生徒数も33人まで増え、地域や学校行事も盛大に盛り上がりました。特に運動会や学習発表会では、多くの方々に参加いただきました。学校としては、光明が差し続けた1年だったと思います。

さあ、令和6年度も残り3か月。崎原小中学校の子供たちは、奇蹟ではなく、これまで自分たちのために、友だちのために、学校のために、地域のためにがんばってまいりました。その軌跡が、これからも光り輝いていくと思います。そして、新年よりまた素晴らしい学校づくりができたらと思います。

令和6年も保護者の皆さん、地域の皆さんに支えられながら学校経営に邁進してまいりましたが、楽しい学校、通いたくなる学校になれていましたでしょうか？これからも子供たちが通いたくなる学校、保護者が相談しやすい学校、地域が集いたくなる学校を目指し、崎原小中学校教職員一同で全力を尽くします。

現在のメンバーがこの崎原に集ったのは奇蹟ではなく必然で、これからの崎原をさらに盛り上げていく軌跡になっていくことを願っております。

それでは、よいお年をお迎えください。そして、新年がみなさんの笑顔花咲く1年になりますように！

人　権　集　会

12月13日は，人権集会を行いました。各学級の人権目標を発表したあとは、互いのことをもっと理解し合うために、またみんなで協力し合うことを学ぶために、人権すごろくを行いました。みんな仲良く楽しそうに取り組むことができました。

ロードレース大会

12月14日はロードレース大会が行われました。小学校低学年は800m、中学年1200m、高学年1500m、中学校は１・２・３ｋｍから選んでの挑戦でした。中学生は１kmを選んでもよかったのですが、多くの生徒が3kmを激走。自分で決めたことに一生懸命取り組んだ子供たち。ゴールしたときの充実感あふれる表情に応援している側の感動しました。

炭　づ　く　り

11月24日に木の伐りだしを行いました。たくさんの方々に参加いただき、例年より少し早めに終わりました。木の伐りだしは、環境を守るためにはとても重要で、毎年少しずつ行うことで、森の生態系を維持することができます。

続いて11月28日は炭の木入れ、火入れを行いました。みんなで粘土を作って、釜を閉めるときに使いました。また、火を入れたあとは、寒い中でしたがバーベキューを行いました。来年度から特認校生として崎原に来る家族も遊びに来てくれました。

12月20日は炭の取り出し。子供たちも楽しみにしていた活動でした。今年とれた炭の量は１６２kg。かなり良質の炭ができました。これも集落の皆さんのご協力のおかげです。特に純孝兄には、たくさん御指導いただきました。ありがとうございました。

1月の主な行事

８日（水）始業式

１０日（金）ふるさと奉仕作業

１５日（水）鹿児島学習定着度調査（～16日）

１７日（金）新入生説明会

３０日（木）福祉体験活動